

投稿規程（2022年5月20日改訂、2022年5月20日から実施）

1. 投稿論文について

1-1. 日本先天代謝異常学会雑誌（以下本誌という）への投稿は、筆頭著者を日本先天代謝異常学会会員に限る。また、共著者は論文に関する研究や経験に関与した（重要な示唆なども含む）者に限る。

1-2. 論文の投稿は、本誌のみに発表するものであって、他雑誌（和文、外国語を問わず）に発表された論文、あるいは発表予定の論文の投稿ではないこと。他言語からの **secondary publication** も対象としない。

1-3. ヒトを対象とした研究は「ヘルシンキ宣言（以後の改訂を含む）」に、また動物実験は「大学における動物実験の実施に関する基本的な考え方について（日本学術審議会）」およびこれらに準ずる指針の規定を遵守すること。特にヒトを対象とする研究においては、患者等の匿名性を十分守ったうえで、論文中にインフォームド・コンセントを得たこと、所属施設・機関等の倫理委員会・治験審査委員会等の承認を得た旨を記載すること。症例報告においても、必要に応じて同様に対応すること。

1-4. ランダム化比較試験の投稿は臨床試験が事前に公的機関に登録されたものに限り、投稿は **CONSORT** 声明に準じる。また登録番号を要旨に記載する。

1-5. 利益相反に関しては、日本先天代謝異常学会が定める規定に則り、投稿時に有無について開示する。

1-6. 論文の採択は、編集委員会で決定する。採択に当たって、編集委員会は原則として 2 名以上に査読を依頼する。採用の決定が行われた日を受理日とする。受理日以降は内容の変更（著者名の変更なども含む）は一切認めない。変更が必要な場合は、新規投稿扱いとなる。

1-7. 査読により訂正稿となった場合は、6 か月以内に再投稿すること。期限を過ぎた場合には新規投稿となる。

1-8. 掲載の順序は受理日の順とする。ただし、必要書類提出など掲載条件が完了されない場合は掲載が遅れることがある。

1-9. 採択された論文は電子媒体で掲載する。

1-10. 不受理論文の再投稿は原則として認めない。

1-11. 投稿にあたり投稿料 10,000 円を下記振替口座に振り込み、振込日、振込名義を投稿時に入力すること。

りそな銀行	麻布支店（700）
普通預金口座	1887906
一般社団法人日本先天代謝異常学会	
代表理事 中村 公俊	

2. 論文種別と領域について

2-1. 本誌の論文の種別は総説（依頼総説・原著総説）、原著（臨床・基礎研究）、症例報告、短報、論策とする。

2-2. 総説は、編集委員会からの依頼によるもの（依頼総説）と投稿によるもの（原著総説）とに分ける。ここで原著総説とは、過去に出版された論文をまとめることにより新しい概念を提案するもの、争点を整理し、今後の研究の方向性に示唆を与えるものとし、採否は査読を経て決定される。

2-6. 論文の種別は投稿時に申告するが、最終的に編集委員会で決定する。

3. 執筆要項について

3-1. 原稿構成

(1) 第1ページ目は表紙とし、表題、各々の著者の所属、著者全員の氏名、キーワード、連絡責任者の住所、所属、氏名、電話、FAX、e-mailアドレスを記載すること。

(2) キーワードは5個以内とし、索引として役に立つものを選ぶこと。略語は使用しないこと。たとえば、PKUとせず、フェニルケトン尿症とすること。また、外国語を用いる場合は、適切な日本語がない場合に限る。

(3) 第2ページ目以降は、以下の順に作成すること。1. 要旨、2. 本文、3. 利益相反、4. 著者役割、5. 文献、6. 表、7. 図の説明、8. 図、9. 英文抄録（表題、全著者、全著者所属、抄録）

(4) 図、表は1点600字換算とする。

3-2. 論文種別の文字数、文献数、図・表は以下の通りである。

論文の種別	文字数（本文＋図表）	要旨	文献	英文抄録	キーワード	組上がり 規定ページ数
原著総説	11,000字以内	600字以内	15編以内	250word程度	5個以内	6ページ以内
原著（臨床・基礎研究）	11,000字以内	600字以内	15編以内	250word程度	5個以内	6ページ以内
症例報告	7,000字以内	600字以内	10編以内	250word程度	5個以内	4ページ以内

3-3. 組上がりで規定ページ内の場合は無料とする。規定ページを超える場合は、1ページあたり15,000円の著者負担とする。

3-4. 著者の所属は、投稿時のものではなく、論文に関係する仕事をした時のものを記すこ

と。

3-5. 表題は簡潔にし、原則として 40 字以内とする。副題は付けないこと。

3-6. 英文抄録、その他の英語表現に関する部分について、英文校閲を受けた上で投稿すること。編集委員会で科学的知識を有するネイティブの校閲が必要と判断した場合には、校閲を受けた証明書を添付すること。

3-7. 論文を分割し、第 1 報、第 2 報などとする場合、同一号に掲載する編数は 2 編以内とする。

3-8. 原稿は、以下の要領に従って作成すること。

(1) 現代かなづかい、常用漢字を用いること。

(2) 学術用語は原則として日本医学会医学用語辞典および日本小児科学会小児科用語集によること。外国語は極力避け、その使用は適当な日本語がない場合に限る。

(3) 表題には略語を用いないこと。ただし略語を使用したほうが分かりやすい場合は認められる。

(4) 本文中に略語を用いる場合は、一般に使われているものに限る。その場合、初出の際に省略しない語を記載し、括弧内に略語を示すこと。

(5) 原則として、外国人名は原語で、薬品名は一般名で記載すること。

(6) 英数字は半角文字を用いること。

3-9. 図・表については以下の要領に従うこと。

(1) 表は、本文を参照しなくても表のみで内容がわかるように必要な情報を簡潔明瞭に示し、表題をつけること。

(2) 図の説明文は図とは別に原稿の参考文献の後に図の説明として明記すること。

(3) 図・表には各々につきアラビア数字で番号を付すこと（図 1、表 1 など）。

(4) 図・写真は、そのまま縮小可能な形であること。従って、縮小されても情報が読み取れるものとする。

(5) 患者の顔写真を使用する際は、患者本人および患者の代諾者に十分説明の上、文書で同意を得ること。本人が意思表示ができない状態では、代諾者の同意のみとする。許可を得たことを写真の説明の中に明記する。被虐待児等の症例で同意が取れない場合には、IRB の承認を得て、その旨を写真の説明の中に明記し、目の部分を隠すなど、患者の同定を不可能にする工夫をすること。

3-10. 数字、数量の単位等

(1) 数字はアラビア数字を用い、整数は三桁ごとに「, (カンマ)」を記入し有効数字を考慮して記載すること。

(2) 数量の単位は km、m、cm、mm、 μ m、L、dL、mL、 μ L、kg、g、mg、 μ g、mEq/L、

mg/dL などを用いること。mm³、cmm などを用いず、 μ L を用いること。

3-11. 著者全員の著者役割を、文献の前に例のように具体的に記載する。利益相反の後に掲載される。

例（著者名）は論文の構想，デザイン，データの収集・分析および解釈において貢献をした。

（著者名）は論文作成または重要な知的内容に関わる批判的校閲に関与した。

3-12. 引用文献

(1) 文献は必要最少限にとどめること。

(2) 記載順序は引用順とし、本文中の引用箇所は、その右肩にアラビア数字を記入すること。

(3) 文献の書き方は、次の形式による。

1) 雑誌の場合：著者名．表題．雑誌名発行年；巻：最初ページ最終ページ。

2) 単行本の場合：著者名．書名．版数．発行社の所在地名：発行社、発行年。

3) 分担執筆による単行本の中の分担部分の引用の場合：著者名．分担執筆部分の表題．編集者名．書名．版数．発行社の所在地名：発行社、発行年：分担部分の最初ページ最終ページ。

4) 雑誌名は、その雑誌指定の略名がある場合はそれを用い、ない場合は PubMed あるいは医学中央雑誌の収載誌略名を用いること。

5) 発行年は西暦を用いること。

6) ページは通巻ページを用いること。

7) 著者名は、3名までは全員を記載する。4名以上の場合は最初の3名を記載し、「, 他」あるいは外国語文献の場合は「, et al」を付する。

8) ウェブページの場合著者名（分かれば）. “Web ページの題名”. Web サイトの名称. 入手先 URL, (参照日付). とし、数年間はデータを保存する。

9) 和訳された文献 Zschocke J and Hoffmann GF (松原洋一 監訳) 小児代謝疾患マニュアル

10) 実例

1) Sakiyama T, Tsuda, M, Owada M, Joh K, Miyawaki S, Kitagawa T: Bone marrow transplantation for Niemann - Pick mice. Biochem Biohys Res Comm 1983 ; 113 : 605 -610.

2) Crawford M A, Gibbs DA, Watts R WE : Advances in the Treatment of Inborn Errors of Metabolism. Chichester, John Wiley & Sons, 1982.

3) Kitagawa T, Mano T, Masaki T, Fujita H, Yokota H: Cost - benefit analysis and parent reaction to screening for diabetes in school children, in Recent Progress in Medico - Social Problems in Juvenile Diabetes, edited by Laron Z and Galazer A, Basel, Karger, 1983 : 139-142.

4) 多田啓也：新生児マス・スクリーニング計画により発見された先天性代謝異常症の追跡

調査. 日小児会誌 1983 ; 87 : 2475-2485.

5) 北川照男：先天性代謝異常症の予防と治療. 新内科学大系年刊版 85-B, 山村雄一ほか監修, 東京, 中山書店, 1985 : 183-207.

4. 投稿について

論文の投稿は、日本先天代謝異常学会雑誌編集事務局 (http://jsimd.net/post_paper.html) にアップロードする。そこに掲載されている投稿要領について熟読すること。

5. 掲載料とその他著者負担について

組上がりで規定ページ内の場合は 12,000 円を掲載料として下記口座に振り込むこと。

規定ページを超える場合は、1 ページあたり 15,000 円の著者負担とする。また、カラー印刷にかかわる代金、図のトレース代は著者負担とする。

りそな銀行	麻布支店 (700)
普通預金口座	1887906
一般社団法人日本先天代謝異常学会	
代表理事 中村 公俊	

6. 著者校正と別冊・PDF データについて

6-1. 初校は著者に送付するので、期日までに返送すること。期日までに返送されない場合は掲載が遅れることがある。初校校正以降の誤りは著者の責任となるので注意深く校正すること。

6-2. 校正では、字句の誤りのみを訂正すること。内容にかかわる変更は、著者の変更、キーワードの変更などを含め、一切認めない。

6-3. 校正の際、別刷単価（送料を含む）を通知するので、校正刷り返送の際に部数を指定すること。掲載料等有料費用に加えて、振込用紙により振り込むこと。PDF 作成希望の場合には実費を請求する。

7. 論文の著作権について

掲載論文の印刷、刊行、図表の引用および転載に関する許可の権限は日本先天代謝異常学会に帰属する。掲載論文の抄録部分（要旨を含む）のデータベースや抄録雑誌への二次的使用ないし転載、および当該論文の複製許諾権は日本先天代謝異常学会に委託されたものとする。

付則

本規程は平成 30 年 4 月 1 日改訂、平成 31 年 1 月 1 日から適用する。この規程の改廃は、理事会の決議を経て行うものとする。

投稿要領

1. 論文の投稿は、日本先天代謝異常学会雑誌 編集事務局 (jsimd@letterpress.co.jp) 宛にメールにて行う。メールの件名は「日本先天代謝異常学会雑誌論文投稿 著者名」とする。論文は、本文、図、表についてそれぞれファイルを作成し、投稿メールに添付する。必ず投稿前にファイル内の文字化け、画像の鮮明度などを確認する。
2. 原稿は文章作成ソフトを使用し、A4 判縦用紙に横書き（原則として 12pt で double space）とし、タイトル頁に文字数（本文+図表、スペースを含めない）を記すこと。標準的なフォント（MS 明朝、MS ゴシック、Osaka など）を用いた Microsoft 社の Word での作成を推奨する。
3. 図は PPT (X)、JPG、TIFF および GIF フォーマットなどのオリジナルファイルをアップロードする。印刷原稿の解像度として、300dpi を必要とする。トレースを必要とする場合およびカラーで掲載を希望する場合はその旨を明記する。
4. 表は標準的なフォント（MS 明朝、MS ゴシック、Osaka など）を用いた Microsoft 社の Excel での作成を推奨する。また、表ごとに別ファイルとし、表題をつける。
5. アップロードファイルは、下記に例示（拡張子を含む）したように半角英数字を用いてファイル名を付ける。

例) 論文原稿 : MainDocument. docx

図 : Fig1. jpg Fig2. jpg Fig3. jpg

表 : Table1. xlsx Table2. xlsx Table3. xlsx

6. アップロードするファイルサイズは、すべてのファイルの合計で 20MB までとする。

統計に関する注意事項

1. 項目毎に、用いた分析方法ならびに平均、標準偏差、95%信頼区間などを明記する。
2. 回帰分析をした場合、独立変数、従属変数などを明記し、その結果の解釈を明記する。

Secondary publication（二次出版）について

1. 日本先天代謝異常学会雑誌に受理された論文を英語で他雑誌に投稿する場合、著者は日本先天代謝異常学会雑誌編集委員会に他雑誌へ投稿予定の論文を提出の上許可を得ること。
2. 英語で書かれた論文は日本語論文のデータ並びに解釈を忠実に反映したものでなければならない。
3. 英文化された論文のタイトルは日本語論文の secondary publication であることがわか

るようタイトルの冒頭に **complete republication** を記載する。

4. 英文化された論文の **title page** の **footnote** に、既に掲載された日本語論文の英文化であることを記載する。たとえば、**This article is based on a study first in the Journal of the Japanese Society for Inherited Metabolic Diseases in Japanese, with full reference.** という **footnote** を掲載し本文中に引用する。

5. 著者群は同一でなければならない。筆頭著者が同一で無い場合は本誌に掲載された論文の筆頭著者の承諾書を提出する。

6. 論文を業績として数える場合は日本先天代謝異常学会雑誌に掲載されたものを原著とし、**secondary publication** は総説として扱い原著論文の2重計上はしない。

7. 英文等で他雑誌に受理された論文の日本語訳を日本先天代謝異常学会雑誌に投稿する場合の条件も上記に当てはめて考える。以下にその具体的手順を記載する。

1) 著者は一次出版側の編集委員会に本誌へ投稿予定の論文を提出の上許可を得、その許諾文書を添付すること(様式自由)。

2) 日本語訳論文は元論文のデータ並びに解釈を忠実に反映したものでなければならない。

3) 日本語訳された論文のタイトルは元論文の二次出版であることがわかるようタイトルの冒頭に「二次出版」と記載する。

4) 二次出版であることを脚注に記載する。

記載例) 本論文は、「一次出版論文の掲載雑誌名 巻：最初の頁 - 最後の頁 発行 年.」に掲載された論文「表題」を二次出版投稿したものである。

5) 著者群は同一でなければならない。筆頭著者が同一で無い場合は元論文に掲載された筆頭著者の承諾書を提出する。

6) 論文を業績として数える場合は元論文を原著とし、本誌論文は総説として扱い原著論文の2重計上はしない。